

病院内の薬剤をロボットが自動搬送

～7月16日～18日 国際モダンホスピタルショーでお披露目～

サカセ化学工業

医療機関向けのキャビネット、カートを製造、販売するサカセ化学工業株式会社(本社：福井県福井市、社長：酒井哲夫、以下サカセ)は、サカセカートの運搬に最適大成建設株式会社(本社：東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル、社長：相川善郎、以下大成建設)の自律搬送ロボット「PoBOT (ポボ)」※1を医療機関向けに発売予定です。安全と安心を最優先に、院内の運搬業務を効率的に進化させるPoBOTは、2025年7月16日～18日に東京ビッグサイトで開催される「国際モダンホスピタルショー」サカセブースにてお披露目し、販売開始を2026年に予定しております。



画像1：カート搬送ロボット「PoBOT (ポボ)」



画像2：注射薬カート把持時の状態

近年、人手不足が深刻な社会課題となっておりますが、医療機関においても人手不足や人件費の高騰、職員の方々の多大な負担の軽減が大きな課題となっております。医療機関でもロボット化が急速に進んでいるものの、医療機関という特性上、最優先である安全を満たす為、人手で対応せざるを得ない業務が多く存在します。2025年7月16日～18日にお披露目するPoBOTは、現在、病院内で人手により運搬されているサカセカートの自動運搬に対応します。第一弾として、薬剤部から各病棟への薬剤運搬で使用するサカセの注射薬カートの自動運搬。薬剤部から各病棟への内服薬等のコンテナ搬送カートの自動運搬。手術材料等のコンテナ搬送カートの自動運搬への対応を予定しています。

PoBOT は大成建設のロボット統合管制プラットフォーム「RoboHUB」※2(図1参照)と連携が可能です。RoboHUBを導入した施設では、PoBOTのエレベータによる上下階への移動や自動ドアの通過が可能となります。また音声付きパトランプやナースコール・内線電話と連携し出発・到着あるいは異常をお知らせ可能なため、運用の自由度が大幅に拡大します。

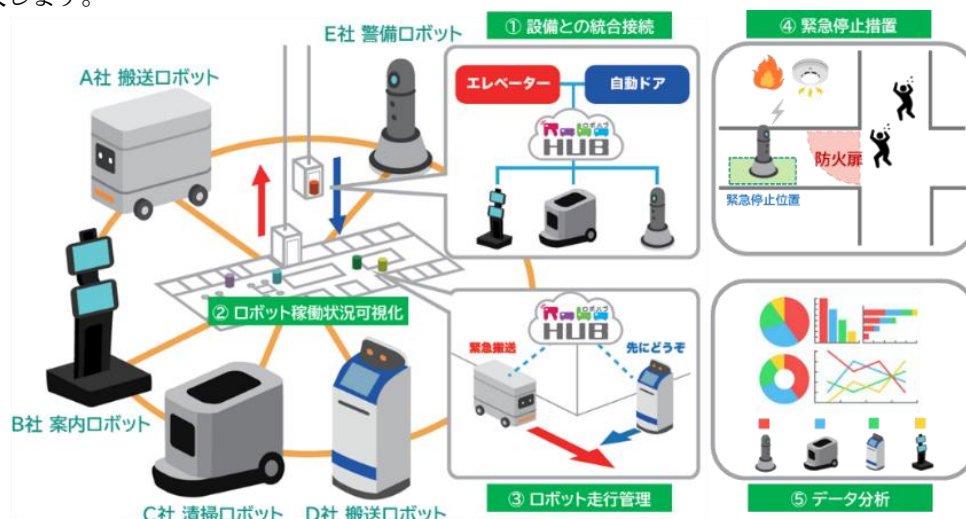


図1：「RoboHUB」の主な5つの機能

PoBOTは、現在ご使用中のサカセ注射薬カートにも、そのまま対応可能です（対応可能なカートの仕様・サイズに制限があります）。カートの高さやキャスターサイズが異なる複数仕様のサカセ注射薬カートとの連動が可能な設計です。ロボット専用カート（ロボット一体型含む）ではなく、自律走行ロボットがサカセカートを運搬します。置き配・置き集荷にも対応しており、必要最低限のロボット台数での運用を実現します。ロボット1台あたり一般的な月給以下の定額料金という、お得な料金体系にてご利用いただける見込みです（別途、初期導入費用を要します）。

サカセのこだわり

サカセは、医療機関向けのキャビネット、カートを主力商品とし、全国の多くの病院で採用されています。これまでヘルスケア市場で培った技術とノウハウ、医療関係者、患者様目線のモノづくりにより高耐久性、高品質を実現。機能性や操作性にも優れ、安全に安心してご使用頂ける商品です。



画像3：PoBOT（ポボ）イメージ



画像4：注射薬カート

※1 医療施設内における自律搬送ロボット「PoBOT（ポボ）」：

注射薬カート等を自動で脱着して自律走行し、集荷や置き配など施設内で無人搬送できるロボット

[医療施設内における注射薬カートの自律搬送ロボット「PoBOT」を開発](#)（プレスリリース 2025年4月18日）

※2 ロボット統合管制プラットフォーム「RoboHUB」：

異なるメーカーのロボットの稼働状況を一括管理し、建物設備などとの連携を可能するクラウドシステム

[ロボット統合管制プラットフォーム「RoboHUB」を開発](#)（プレスリリース 2022年6月6日）

■会社概要

商 号：サカセ化学工業株式会社

代 表 者：代表取締役社長 酒井 哲夫

所 在 地：〒910-0147 福井県福井市下森田町3-5

設 立：1962年1月

資 本 金：9,600万円

事業内容：医療用キャビネット・カート、医療用具、防災用品

各種プラスチック、ゴム、木、ステンレス、アルミ製品の企画・開発・設計・製造・販売

U R L：<https://www.sakase.com/>

■この件に関するお問い合わせ先

サカセ化学工業株式会社

未来創成本部 本部長 木谷 佳敬

TEL 0776-56-1122（代表） E-mail y.kidani@sakase.com 携帯電話 090-5170-1030